



# 30年にわたるミンダナオ支援の振り返り — 1990年代～バンサモロ暫定自治政府設立まで —



2021年2月24日

JICA国際協力専門員（平和構築）

谷口美代子（Taniguchi.Miyoko@jica.go.jp）



# 本日の発表内容

1. 『ミンダナオ支援の包括的レビュー』の概要
2. ミンダナオ支援の特徴とプロジェクト紹介
  - (1) フェーズ別
  - (2) 分野別（ガバナンス強化、経済開発、コミュニティ開発）
3. 調査結果と教訓と提言  
ミンダナオ支援の意義



## ミンダナオ支援の 包括的レビュー

2021年2月

## JICAによるミンダナオの 平和と開発への貢献

ミンダナオ支援の包括的レビューの調査結果から

## Comprehensive Review of JICA's Assistance in Mindanao

February 2021



# JICAによる調査結果の総括と 今後のミンダナオ支援への基本方針



独立行政法人 国際協力機構 (JICA)  
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
アイ・シー・ネット株式会社



独立行政法人 国際協力機構 (JICA)



Japan International Cooperation Agency (JICA)  
Oriental Consultants Global Co., Ltd.  
IC Net Limited



# ミンダナオ包括的レビューの概要

## 目的

1990年代からのJICAのミンダナオ支援の平和と開発への貢献を明らかにすること

その成果を整理し、教訓を抽出し、新たな自治政府に対する協力を強化・発展

## 分析手法

事後的に「協力プログラム」として仮定し、その成果を「貢献の概念」を用いて分析

## 対象期間

1990年代後半から2019年初めバンサモロ暫定自治政府（BTA）設立まで

## 調査期間

2019年前半：準備（資料収集・調査設計）

2019年通年：外部委託調査

2020年：調査総括・報告書最終化



信頼を育む場所

小学校で共に学ぶムスリムとキリスト教生徒



JICAの支援で建設された離島の中学校

# 本調査の意義

個人の情報・  
知識 (財産)から

暗黙知

形式知

文書化により  
公共の財産へ

報告書 = 公共財



ミンダナオ支援の  
包括的レビュー

2021年2月

**客観性を担保**

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)  
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
アイ・シー・ネット株式会社



# 報告書の内容

\*調査設計から全体の実施管理はJICA

章	内容	担当主体
第1章	調査の概要	JICA
第2章	ミンダナオ和平を取り巻く概況	JICA
第3章	日本のミンダナオ支援政策	JICA
第4章	JICAのミンダナオ支援実績	JICA
第5章	<b>JICAのミンダナオ支援レビュー (アウトカム分析、JICA事業と外交・治安維持)</b>	<b>外部委託</b>
第6章	JICA事業による「ミンダナオの平和と開発」への貢献	<b>外部委託</b>
第7章	結論・教訓	<b>外部委託</b>

**添付資料：各事業の要約と他ドナーのミンダナオ支援概況**

# オールジャパンによるミンダナオ支援 ー 包括的レビューの調査枠組み ー

## アウトカム

### ミンダナオの平和と開発

#### その他事業のアウトプット

和平調停

ミンダナオ国際監視 (IMT)  
(社会経済開発：草の根)

国内招聘  
(留学生、セミナー実施)

#### JICA事業のアウトプット

経済開発

インフラ整備

農業開発

産業振興

コミュニティ開発

ガバナンス強化

多様なステークホルダーとの信頼醸成と現地人材の育成

## 事業群

2000年代

1990年代

現在

2010年代

2000年代

1990年代



多様なステークホルダーとの信頼醸成と現地人材の育成

# オールジャパンによるミンダナオ支援

開発



JICA・在比日本大使館

外交（調停）



外務省・在比日本大使館

国際コンタクトグループ（和平交渉オブザーバー）への参加

治安維持



外務省・在比日本大使館（JICA）

ミンダナオ国際停戦監視団（復興・開発担当）への参加



日本バンサモロ復興開発イニシアティブ

2006年設立：JICA-外務省の情報共有メカニズム  
ミンダナオ・タスクフォース（在比日本大使館）

開発

ミンダナオの平和と開発

JICA-外務省・大使館-民間企業・NGO・大学など

治安維持  
（停戦監視）

外交  
（和平調停）



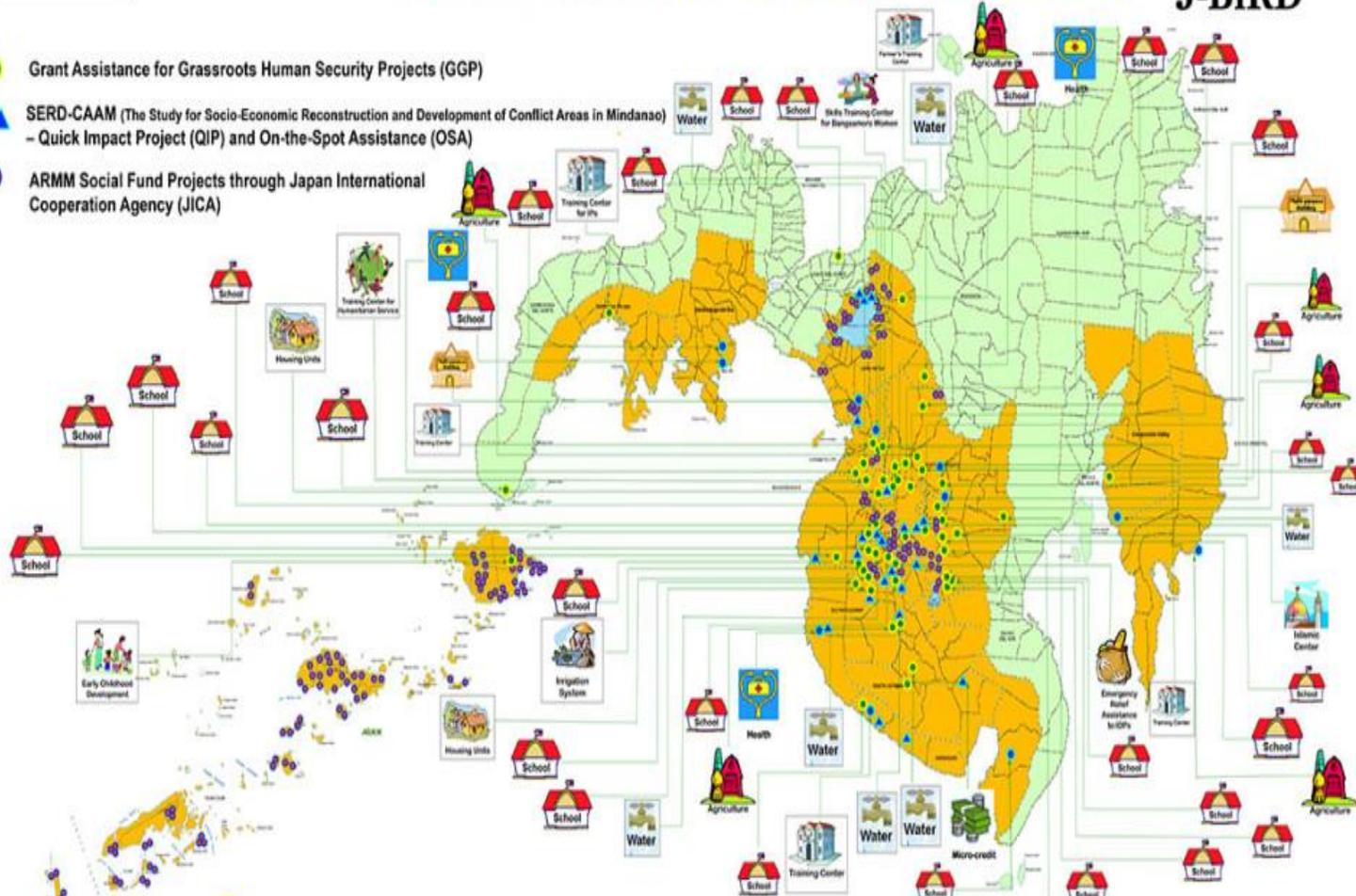
# J-BIRD

## JAPAN - BANGSAMORO INITIATIVES FOR RECONSTRUCTION AND DEVELOPMENT

As of October 2012



- Grant Assistance for Grassroots Human Security Projects (GGP)
- SERD-CAAM (The Study for Socio-Economic Reconstruction and Development of Conflict Areas in Mindanao) – Quick Impact Project (QIP) and On-the-Spot Assistance (OSA)
- ARMM Social Fund Projects through Japan International Cooperation Agency (JICA)



### ● Grant Assistance for Grassroots Human Security Projects (GGP)

42 school buildings or 199 classrooms constructed and repaired for 9,950 pupils/students

5 Level II Water Systems providing potable water to 855 households

1 irrigation canal, 4 warehouses, 4 solar dryers constructed; 3 hauling trucks and 17 units of agricultural equipments and machineries provided for 2,034 farmers

50 core shelters constructed for typhoon victims

10 training centers catering to 5,512 target participants yearly

1 municipal health center constructed and 1 hospital provided with medical equipment to serve a total of 10,203 households

1 micro-credit project providing financial assistance for 930 micro-entrepreneurs

1 Islamic Center built for 4,000 households

4,500 relief goods distributed to 15,000 IDPs

### Other J-BIRD Projects include:

- ARMM Human Capacity Development Project
- Senior Advisor for Regional Development of ARMM
- Central Mindanao Road Project
- Formulation of Infrastructure Development Plan for ARMM
- ARMM Local Industry Development Study
- Topographic Map for Peace and Development in Mindanao

## Ps pod

### TYPES OF GGP PROJECTS

TRAINING CENTER

SCHOOL BUILDING

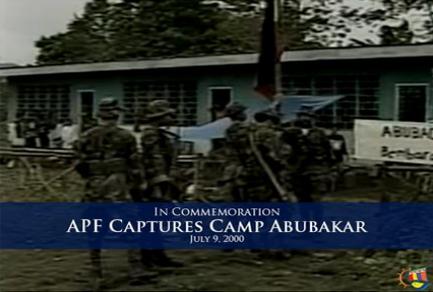
SOLAR DRYER AND WAREHOUSE

WATER SUPPLY SYSTEMS

# J-BIRD

Japan-Bangsamoro Initiatives for Reconstruction and Development

# フェーズ別ミンダナオ支援の特徴

フェーズ	特徴	支援方針・内容
<p>第1フェーズ (1990-2002年)</p>	<p>アキノ・ラモス政権の 開発政策との関連 [比政府-MNLFの1996 年最終和平合意後]</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ミンダナオの経済開発や格差是正</li><li>■ 平和開発特別地域（SZOPAD）を対象とし<b>中央省庁を実施機関</b>として<b>有償資金協力</b>（灌漑・道路・電力など<b>インフラ</b>）を実施</li><li>■ <b>1997年：政府とMILFとの和平交渉開始</b></li></ul>
<p>第2フェーズ (2002-2006年)</p>	<p> <b>キャンプ・アブバカ陥落</b> 日本政府「平和と安定のためのミンダナオ支援パッケージ」 (2002年)との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>2000年：国軍によりMILF軍事拠点陥落</b></li><li>■ <b>2003年：ARMM自治政府地域開発シニアアドバイザー派遣 + 基礎調査</b>[ガバナンス、農業、保健、教育、給水分野] ⇒ <b>技術協力の起点</b></li><li>■ 実施機関に<b>ARMM自治政府</b>を加える</li><li>■ 協カスキームに<b>技術協力プロジェクト</b></li><li>■ 協カ分野にARMM政府の<b>ガバナンス強化、住民主導型のコミュニティ開発、経済開発</b></li></ul>

# フェーズ別ミンダナオ支援の特徴

フェーズ

特徴

支援方針・内容

## 第3フェーズ (2006-2011年)

緒方JICA理事長  
(当時)のMILF軍事  
拠点訪問後の展開  
-ARMM-BDA[MILF]-

- 2006年日比国交正常化50年⇒J-BIRD-新たなミンダナオ支援 (IMT派遣、MILF影響地域を含む)
- 2007年：MILF関連機関-**バンサモロ開発庁 (BDA)**への開発機関としての能力向上強化支援
- 2008年：**ARMM自治政府人材育成支援**
- **2008年：和平枠組合意・違憲判決⇒交戦⇒和平停滞⇒協力継続の一方で、事業実施方法の抜本的見直し**



2005年5月：MILF総会参加の(故)高橋妙子公使(当時)とムラド議長



2006年6月：ダラパンMILF軍事基地を訪問した(故)緒方貞子JICA理事長(当時)



2006年10月：ミンダナオ国際停戦監視団へ復興・開発担当専門家(大使館員)を派遣



2008年10月：和平枠組み合意の違憲判決に対するMILF司令官の武装蜂起と国軍による拘束作戦

# フェーズ別ミンダナオ支援の特徴

フェーズ	特徴	支援方針・内容
<p style="text-align: center;"><b>第4フェーズ</b> (2011-2019年)</p>	<p style="text-align: center;">比政府とMILF のトップ会談 以降の和平プ ロセスの進展</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2009年12月：国際コンタクトグループ（ICG）・和平交渉オブザーバー</li> <li>■ 2011年8月：アキノ大統領とムラド・イブラヒムMILF議長の初トップ会談（成田会談）⇒ <b>和平の機運高まる</b></li> <li>■ <b>2012年10月：枠組み合意締結</b></li> <li>■ <b>2014年3月：包括的和平合意締結</b></li> <li>■ <b>2013年：バンサモロ移行委員会（BTC）</b> に対し新自治政府設立の制度整備の準備支援</li> <li>■ ARMM自治政府へ技術協力継続⇒支援のバランス堅持</li> <li>■ <b>2015年1月：ママサパノ事件-比警察-MILF交戦[67人死亡]⇒和平停滞</b></li> <li>■ <b>バンサモロ基本法の不成立による事業見直し</b></li> </ul>



2011年8月：成田でのアキノ大統領(当時)とムラドMILF議長の極秘トップ会談



2014年3月：和平合意後に歓喜に沸く両者和平交渉団とICGオブザーバー・メンバー



2014年3月：マラカニアン宮殿での和平合意調印式での田中JICA理事長（当時）とアキノ大統領



2015年1月：ママサパノ事件・交戦により死亡したフィリピン治安当局関係者の追悼

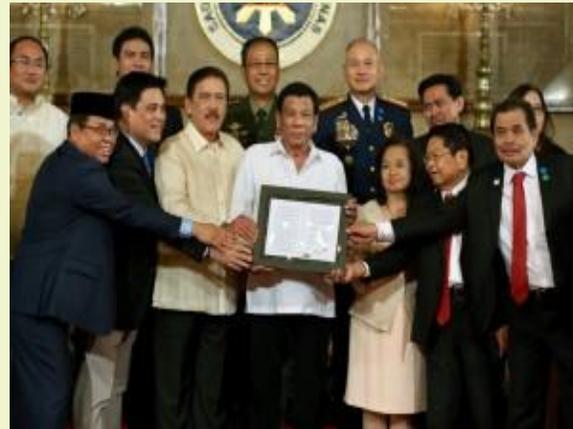
# 第4フェーズ (2011-2019年)

## ドゥテルテ政権下の 和平プロセス (2016年-)



2020年2月  
北岡JICA理事長-イブラヒム暫定  
首相-ラウレル在日比大使  
(於：JICA本部)

バンサモロ組織法 (BOL) 成立 (2018年7月) - バンサモロムスリムミンダナオ自治地域 (BARMM)、暫定自治政府 (BTA) 設立 (2019年2月)



2018年7月：BOL議会成立



2019年1月、2月：住民投票



2019年2月：BTA議員宣誓式



2019年3月：ARMMから引継ぎ式



2019年3月：BARMM設立式



ムラド・イブラヒム暫定首相  
(バンサモロ暫定自治政府)

\*JICA歴代理事長のミンダナオ支援に関するリーダーシップについては報告書本文を参照のこと

# オールジャパンによるミンダナオ支援 ーガバナンス強化ー

2000年代  
1990年代



現在  
2010年代  
2000年代  
1990年代

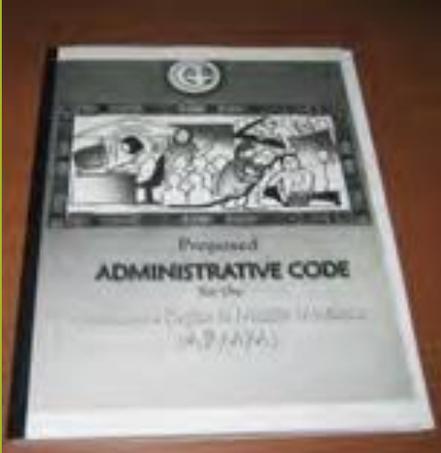
アウトカム				
ミンダナオの平和と開発				
その他事業のアウトプット				
和平調停	ミンダナオ国際監視 (IMT) (社会経済開発：草の根)		国内招聘 (留学生、セミナー実施)	
JICA事業のアウトプット				
インフラ整備		経済開発		ガバナンス強化
農業開発		産業振興		コミュニティ開発
事業=インプット				
無償：マラウィ市及び周辺地域における復旧・復興支援計画(2018-)	調査：マリトボグーマリダガオ灌漑計画準備調査(2017-2018)	草の根技協：パンサモロ自治政府人材育成強化事業(2015-2018)		
無償：パンサモロ地域配電網機材整備計画(2018-)	有償：アグリビジネス振興・平和構築・経済成長促進事業 (HARVEST) (2017-)	草の根技協：パンサモロ自治政府人材育成事業(2014-2016)		
調査：ミンダナオ紛争影響地域道路ネットワーク整備事業準備調査(2017-2018)	無償：ミンダナオの紛争影響地域におけるコミュニティ開発計画(2015-2018)	技協：パンサモロ包括的能力向上プロジェクト (CCDP) (2013-2019)		
技協：ARMN稲作中心営農技術普及プロジェクト(2012-2017)	技協：ARMNビジネスディベロップメントサービス短期アドバイザー(2012-2013)	技協：ミンダナオ紛争影響地域コミュニティ開発のための能力向上支援プロジェクト(2012-2016)		
有償：ミンダナオ持続的農地改革・農業開発事業 (MINSAAD) (2012-)	技協：ARMNアグリビジネス開発短期アドバイザー(2012-2013)	技協：ミンダナオの平和と開発のための地形図作成プロジェクト(2010-2013)		
技協：ARMNインフラ(道路網)開発調査(2008-2010)	技協：ARMN地場産業振興調査(2010-2012)	技協：ミンダナオ紛争影響地域社会経済復興支援調査 (SERD-CAAM) (2007-2009)		
有償：中部ミンダナオ道路整備事業(2003-2011)	技協：ARMN地域稲作中心営農技術改善プロジェクト(2005-2010)	技協：ARMN人材育成プロジェクト(2008-2013)		
無償：西部ミンダナオ地区道路建設機材整備計画(1998-1999)	技協：ARMN地域保健サービス改善プロジェクト(2004-2008)	技協：ARMN地域開発シニアアドバイザー(2003-2013)		
有償：電力網整備事業(1995-2005)	有償：マリトボグーマリダガオ灌漑事業(1990-2014)	有償：ARMN平和・開発社会基金事業(2003-2012)		
		技協：ARMN自治政府行政能力向上プロジェクト(2004-2007)		

多様なステークホルダーとの信頼醸成と現地人材の育成



# ガバナンス強化支援

課題：ARMM自治政府や地方自治体などの脆弱なガバナンス  
 目標：新バンサモロ自治政府のガバナンス強化と平和の実現  
 成果：ARMM自治政府の行政能力強化（新たな自治政府設立の基盤整備と円滑な移行促進）



現在

技協：バンサモロ自治政府能力向上プロジェクト-BTA (2019-2022)

草の根技協：バンサモロ自治政府人材育成強化事業 (2015-2018)

草の根技協：バンサモロ自治政府人材育成事業 (2014-2016)

技協：バンサモロ包括的能力向上プロジェクト-BTC (2013-2019)

2010年代

技協：ミンダナオの平和と開発のための地形図作成プロジェクト (2010-2013)

技協：ARMM人材育成プロジェクト(2008-2013)

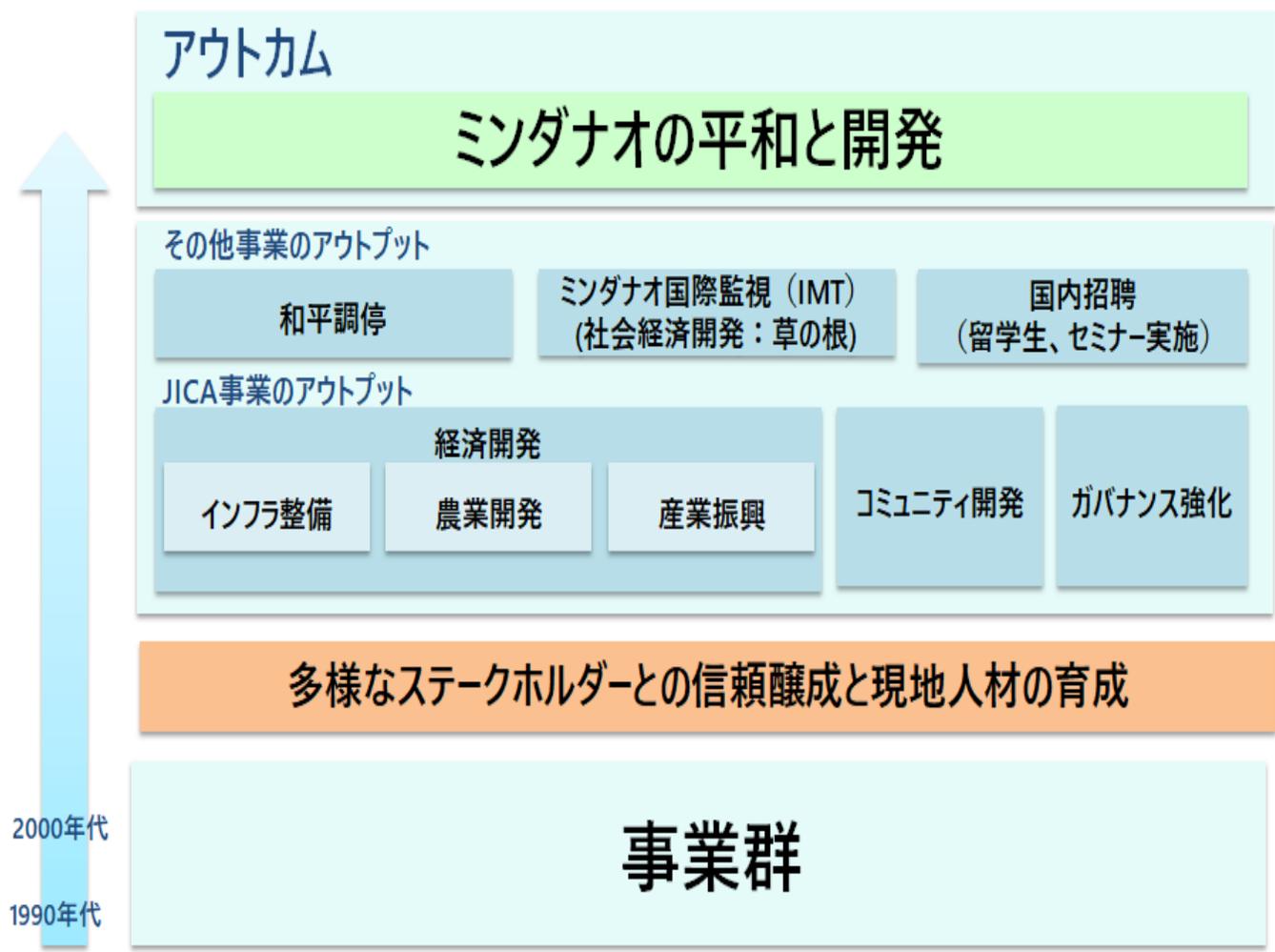
2000年代

技協：ARMM自治政府行政能力向上プロジェクト(2004-2007)

技協：ARMM地域開発シニアアドバイザー(2003-2013)

多様なステークホルダーとの信頼醸成と現地人材の育成

# オールジャパンによるミンダナオ支援 ーコミュニティ開発ー



現在	ミンダナオの平和と開発				
	和平調停		ミンダナオ国際監視 (IMT) (社会経済開発：草の根)		国内招聘 (留学生、セミナー実施)
	JICA事業のアウトプット				
	経済開発				
	インフラ整備	農業開発	産業振興	<b>コミュニティ開発</b>	ガバナンス強化
	事業=インプット				
	無償：マラウィ市及び周辺地域における復旧・復興支援計画(2018-)	調査：マリトボグーマリダガオ灌漑計画準備調査(2017-2018)			
	無償：パンサモロ地域配電網機材整備計画(2018-)	有償：アグリビジネス振興・平和構築・経済成長促進事業 (HARVEST) (2017-)			草の根技協：パンサモロ自治政府人材育成強化事業(2015-2018)
	調査：ミンダナオ紛争影響地域道路ネットワーク整備事業準備調査(2017-2018)				草の根技協：パンサモロ自治政府人材育成事業(2014-2016)
	無償：ミンダナオの紛争影響地域におけるコミュニティ開発計画(2015-2018)			技協：パンサモロ包括的能上プロジェクト (CCDP) (2017-2019)	
		技協：ARMM稲作中心営農技術普及プロジェクト(2012-2017)	技協：ARMMビジネスディベロップメントサービス短期アドバイザー(2012-2013)	技協：ミンダナオ紛争影響地域コミュニティ開発のための能力向上支援プロジェクト(2012-2016)	
		有償：ミンダナオ持続的農地改革・農業開発事業 (MINSAAD) (2012-)	技協：ARMMアグリビジネス開発短期アドバイザー(2012-2013)		技協：ミンダナオの平和と開発のための地形図作成プロジェクト(2010-2013)
	技協：ARMMインフラ(道路網)開発調査(2008-2010)		技協：ARMM地場産業振興調査(2010-2012)	技協：ミンダナオ紛争影響地域社会経済復興支援調査 (SERD-CAAM) (2007-2009)	技協：ARMM人材育成プロジェクト(2008-2013)
	有償：中部ミンダナオ道路整備事業(2003-2011)	技協：ARMM地域稲作中心営農技術改善プロジェクト(2005-2010)		技協：ARMM地域保健サービス改善プロジェクト(2004-2008)	技協：ARMM地域開発シニアアドバイザー(2003-2013)
	無償：西部ミンダナオ地区道路建設機材整備計画(1998-1999)			有償：ARMM平和・開発社会基金事業(2003-2012)	技協：ARMM自治政府行政能力向上プロジェクト(2004-2007)
	有償：電力網整備事業(1995-2005)	有償：マリトボグーマリダガオ灌漑事業(1990-2014)			

多様なステークホルダーとの信頼醸成と現地人材の育成



# コミュニティ開発支援

課題：コミュニティとしての一体感の低さ

目標：コミュニティレベルの一体感の向上と平和の実現

成果：小規模インフラ整備と住民の生計向上、住民間の相互理解と社会的結束、コミュニティの一体感強化

現在

技協：バンサモロ自治政府能力向上プロジェクト-BTA  
(2019-2022)

技協：バンサモロ包括的能力向上プロジェクト-BTC  
(2013-2019)

技協：ミンダナオ紛争影響地域コミュニティ開発のための能力  
向上支援プロジェクト-BDA (2012-2016)

2010  
年代

技協：ミンダナオ紛争影響地域社会経済復興支援調査  
(SERD-CAAM) -BDA (2007-2009)

2000  
年代

技協：ARMM地域保健サービス改善プロジェクト-ARMM  
(2004-2008)

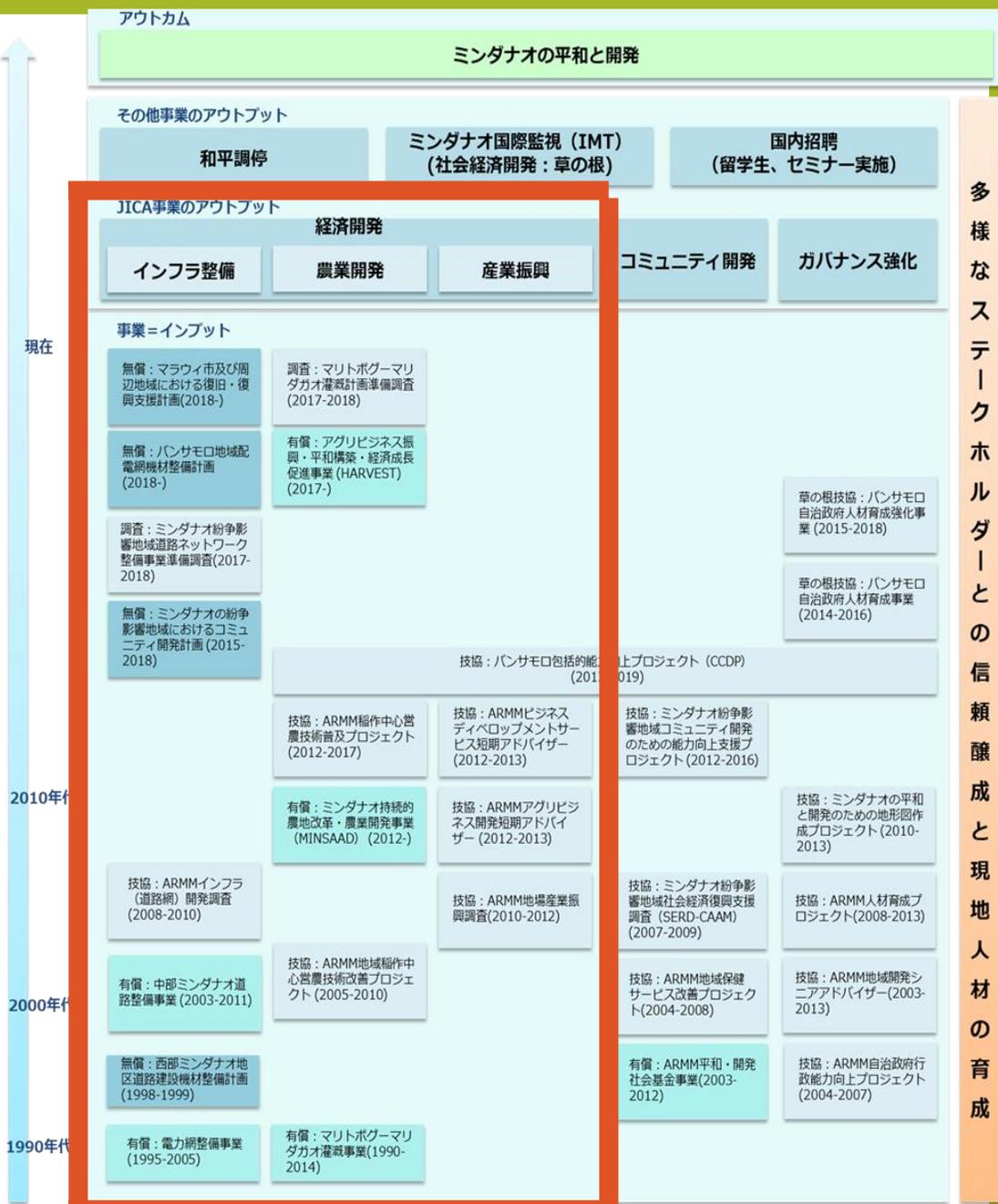
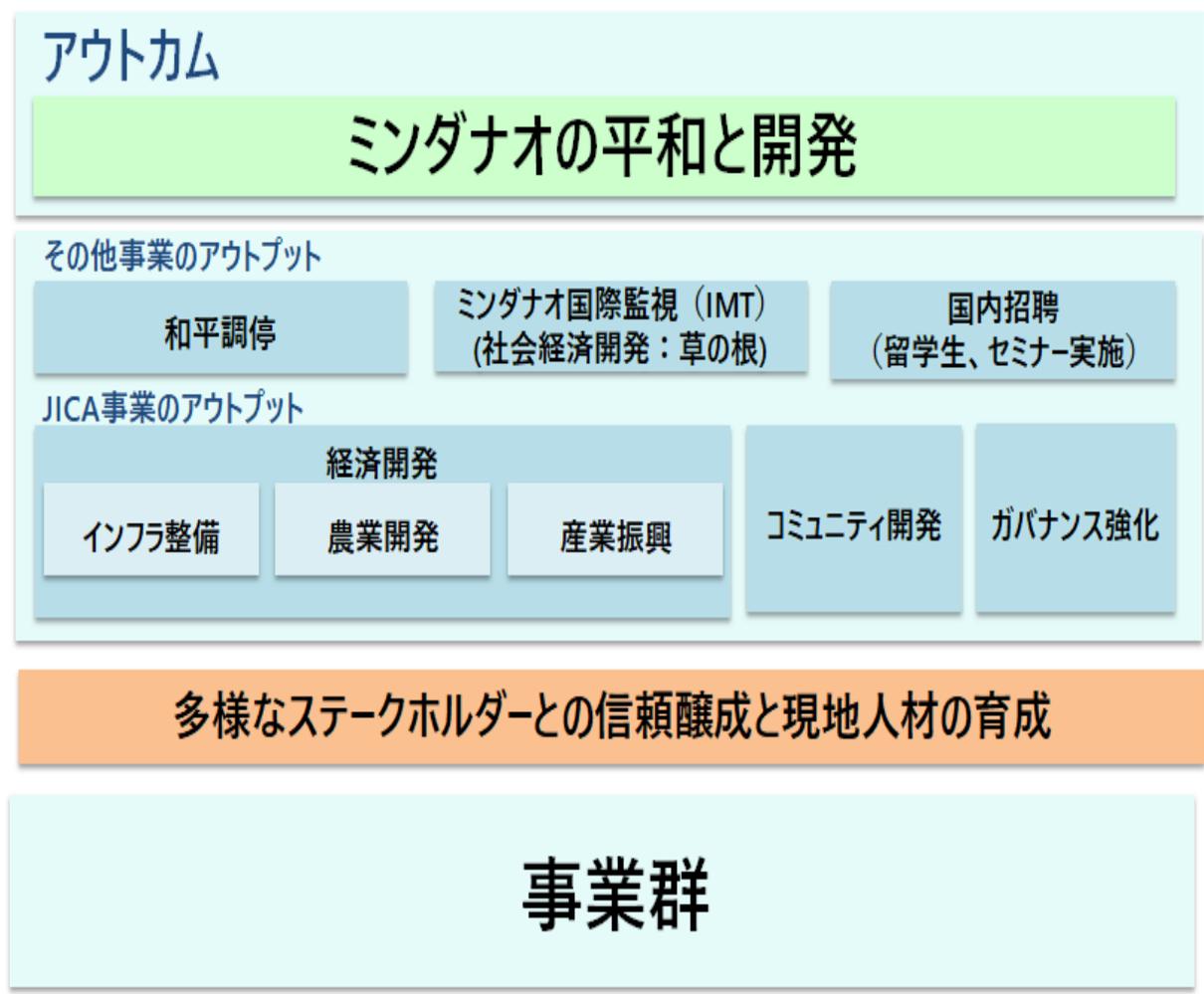
有償：ARMM平和・開発社会基金事業-(2003-2012)

技協：ARMM地域開発シニアアドバイザー-(2003-2013)

多様なステークホルダーとの  
信頼醸成と現地人材の育成

# オールジャパンによるミンダナオ支援 — 経済開発 —

1990年代  
2000年代  
2010年代  
現在



多様なステークホルダーとの信頼醸成と現地人材の育成

# 経済開発支援

課題：経済的ポテンシャルが十分に活用されていない

目標：ミンダナオにおける経済成長と平和の実現

成果：経済成長・生計向上・治安改善（インフラ整備、農産品販路拡大、除隊兵による帰農促進など）



THE PROMISE OF JAPAN'S PRIME MINISTER KOZUMI to help the Philippine government promote peace in the country, particularly in Muslim Mindanao, is not just a promise. A five-year JICA (Japan International Cooperation Agency) technical cooperation project intended to improve the farming systems of Autonomous Region of Muslim Mindanao (ARMM) farmers is leading to the improvement of their living standards.

Abubakar Mueara of Sumangal, Bongao II, Tawi-Tawi  
Abdulader Eman of Brgy. Pipalegan, Sultan Kudarat, Maguindanao

## Promoting Peace in Muslim Mindanao Through Increased Farm Productivity

小泉首相のミンダナオ支援の約束 [2002年：ミンダナオの平和と安定のための支援パッケージ] は単なる約束ではなかった。JICAの元兵士への営農支援によって平和を促進している

2007年3月：地元紙

The project covers five ARMM provinces - Basilan, Tawi-Tawi, Sulu, Maguindanao, and Lanao del Sur.

TRAINING FIELD SCHOOLS Even if the project is barely two years old, significant accomplishments have already been achieved. Both extension workers and farmers in ARMM are being trained for an efficient and effective promotion of technologies.

Starting in April 2005, a total of 90 DAF-ARMM agricultural technologists



Participating farmers in Lambuyanque, Sagayaran, Lanao del Sur proudly show the bountiful rice harvest of one of their companions.



# 平和構築の視点からの横断的分析結果

- 1 事業実施の協働を通じた住民間の信頼関係醸成
- 2 分断社会の一体性強化
- 3 紛争再発への強靱性向上
- 4 平和の配当としての公共サービスの提供 ⇒ 政府の正統性向上と地域の安定化



一進一退の和平プロセスの中での一貫した支援は、日本の外交的意思の表明 ⇒ 和平の機運を維持向上 ⇒ 和平プロセスの促進

## (調査結果) 結論

「JICAのミンダナオへの支援は、長年にわたる開発事業の継続的实施によって培ったネットワークを活かし、経済開発、ガバナンス強化、コミュニティ開発と多様な関係者間の**信頼醸成**と現地人材の育成をとおしてミンダナオの平和と開発に貢献した」

和平調停

和平調停

国内招聘（留学生、セミナーなど）

ガバナンス強化

コミュニティ開発

経済開発

（インフラ整備、経済開発、産業振興）

多様なステークホルダー間の信頼醸成と信頼醸成と現地人材の育成

# JICAによる総括

## 教訓・提言

-現代の複雑化・長期化した紛争の特性を踏まえて-

1

（計画段階）不確実性や潜在的リスクを踏まえた計画策定（歴史的視点からの紛争・政治・ステークホルダー分析、民族間・地域間バランスや包摂性に配慮した対象選定基準やプロセスの明確化⇒透明性と政治配慮）

2

（実施段階）継続した政治分析・ステークホルダー分析、不測の事態も踏まえたシナリオ策定とモニタリング⇒即応能力の向上、必要に応じた支援計画の見直し、効果的な支援内容とタイミングの査定

3

（和平プロセスのフェーズに適合した支援）対立期では支援のコミットメントを示す外交、基礎的ニーズ充足と開発による和平誘引のための事業継続（遠隔操作も含む）、和平合意前後では平和の配当としての即効性のある小規模事業と暫定政府の基盤整備

# ミンダナオ支援の意義

\*『JICAによるミンダナオの平和と開発への貢献：  
ミンダナオ支援の包括的レビューの調査結果から』を参照ください！

1. 日本との歴史的、政治経済社会的、安全保障上、緊密な関係
2. 地政学上、ミンダナオ・フィリピンの安定はインド太平洋地域全体の安定に重要
3. 民主的な紛争解決の成功事例として国際社会に提示（価値・規範。**未来への希望**）
4. BARMMの失敗は力の空白・権力闘争強化  
⇒ 暴力的過激主義勢力の浸透を深化

～日本と世界の子どもたちの未来のために～



～私たちは戦争でなく、  
永続的な平和を望んでいます～

2018年3月：バンサモロ基本法法制化支援の  
住民集会@コタバト市

(写真提供) 大統領府



# ご清聴いただきありがとうございました！

【ミンダナオ包括レビューのJICA図書館URL】

・ミンダナオ支援の包括的レビュー（和文・英文）

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000044366.html>

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000044367.html>

・JICAによるミンダナオの平和と開発への貢献：ミンダナオ支援の包括的レビューの調査結果から

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000044368.html>

# ミンダナオにおけるJICA事業の対象地域

⑥有償:ムスリム・ミンダナオ自治地域平和・開発社会基金事業  
南ラナオ州、バシラン州、スールー州、タウイタウイ州、マギンダナオ州

⑦技協:ミンダナオ紛争影響地域社会  
経済復興支援調査(SERD-CAAM)

南ラナオ州、北ラナオ州、マギンダ  
ナオ州、スルタンダラット州、サラ  
ンガニ州、北ザンボンアンガ州、南ザンボ  
アンガ州、ザンボンアンガシブガイ州、東  
ダバオ州、コンボステラ溪谷州、北コ  
タバト州、南コタバト州、コタバト市、マ  
ラウイ市

⑧技協:ミンダナオ紛争影響地域  
コミュニティ開発のための能力  
向上支援プロジェクト(CD-CAAM)

南ラナオ州、北ラナオ州、タウイタウイ州

⑨技協:パンサモロ包括能力向上  
プロジェクト(GCDP)

南ラナオ州、北ラナオ州、スールー州、  
バシラン州、タウイタウイ州、マギンダ  
ナオ州、北コタバト州、  
スルタンダラット州、サラ  
ンガニ州、  
ザンボンアンガシブガイ州、東ダバオ州、  
コンボステラ溪谷州

④有償:マリトボグーマリダガオ灌漑事業  
北コタバト州

⑩無償:マラウイ市及び周辺地域にお  
ける復旧・復興支援計画  
マラウイ市

## ミンダナオ全域

①有償:電力網整備事業  
ミンダナオ全域

⑫技協:ミンダナオの平和と開発の  
ための地形図作成プロジェクト  
ミンダナオ全域

## ARMM全域

⑦技協:ARMM地域開発シニアアドバイザー  
ARMM全域

⑬技協:ARMMビジネス・ディベロップメント・  
サービス短期アドバイザー  
ARMM全域

⑧技協:ARMM政府行政能力向上  
プロジェクト  
ARMM全域

⑭技協:ARMMアグリビジネス開発短期  
アドバイザー  
ARMM全域

⑩技協:ARMM地域保健サービス  
改善プロジェクト  
ARMM全域

⑮草の根技協:ミンダナオのパンサモ  
ロ自治政府人材育成事業  
ARMM全域

⑪技協:ARMM地域稲作中心農業技術改善  
ARMM全域

⑯草の根技協:ミンダナオの  
パンサモロ自治政府人材育成強化事業  
ARMM全域

⑬技協:ムスリム・ミンダナオ自治区  
人材育成プロジェクト  
ARMM全域

⑰有償:アグリビジネス振興・  
平和構築・経済成長促進事業(HARVEST)  
ARMM全域

⑮技協:ARMM 地場産業振興調査  
ARMM 全域、ダバオ市、カカヤンデオロ市、  
イリガン市、ジェネラルサントス市、  
ザンボンアンガ市、コロダナル市

⑱有償:ミンダナオ持続的農地改革・  
農業開発事業  
ブキッドノン州、北ダバオ州、コンボステラ溪谷州、  
東ダバオ州、南アグサン州、北スリガオ州

⑭技協:ムスリム・ミンダナオ自治区  
インフラ(道路網)開発調査  
北コタバト州、南コタバト州、  
スルタンダラット州、サラ  
ンガニ州、  
東ミサミス州、カミギン州、ブキッドノン州

⑤有償:中部ミンダナオ道路整備事業  
マギンダナオ州、スルタン・グダラット州

②無償:西部ミンダナオ地区道路建設機材整備計画  
タウイタウイ州、スールー州、バシラン州、南コタバト州、  
スルタンダラット州、マギンダナオ州、南ラナオ州

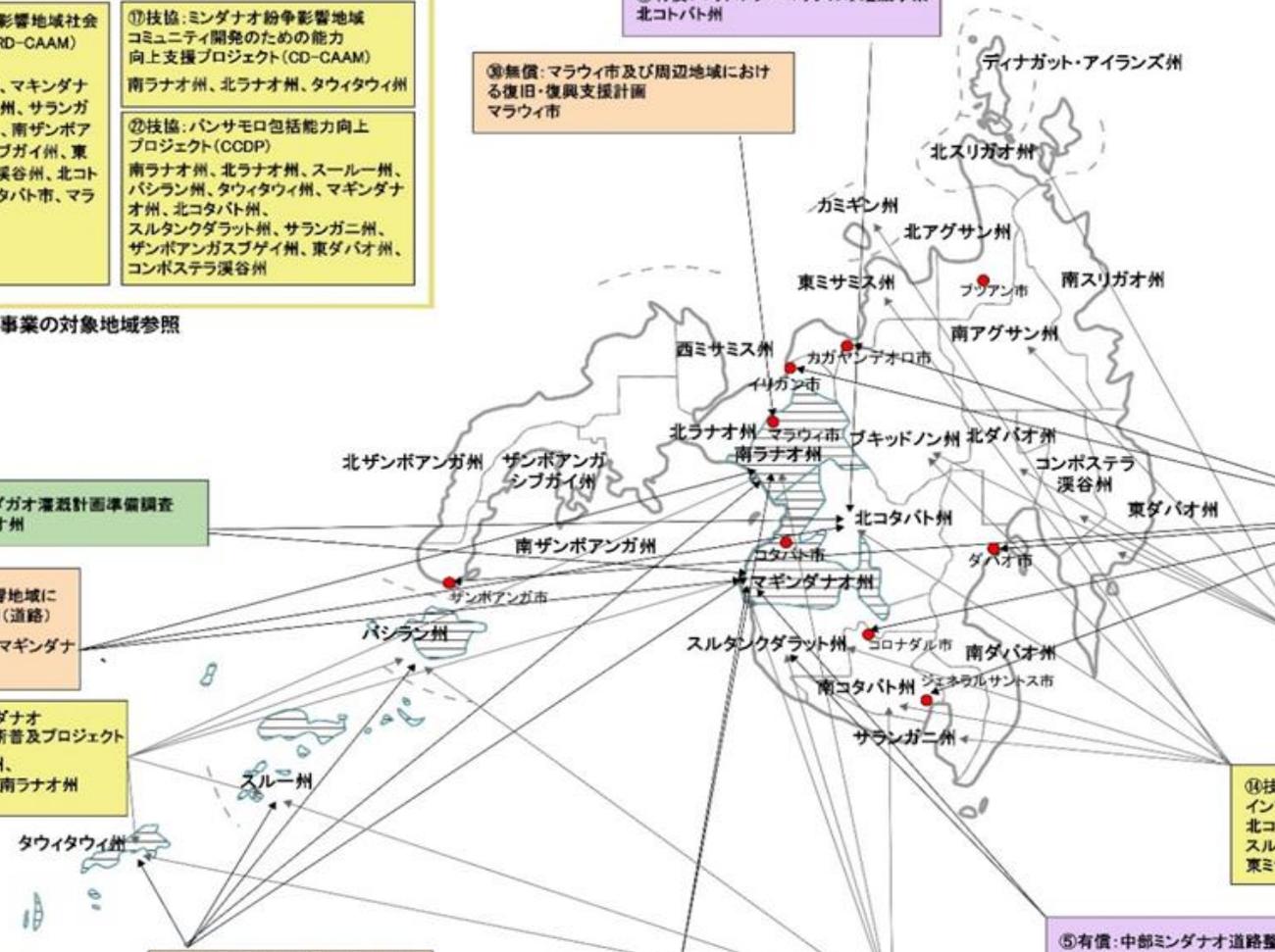
⑬調査:ミンダナオ紛争地域道路  
ネットワーク整備事業準備調査  
南ラナオ州、マギンダナオ州

⑳無償:パンサモロ地域配電網機  
材整備計画  
マギンダナオ州、南ラナオ州、バシ  
ラン州、スールー州、タウイタウイ州

⑪調査:マリトボグーマリダガオ灌漑計画準備調査  
北コタバト州、マギンダナオ州

⑫無償:ミンダナオ紛争影響地域に  
おけるコミュニティ開発計画(道路)  
南ラナオ州、北コタバト州、マギンダ  
ナオ州

⑬技協技協:ムスリム・ミンダナオ  
自治地域稲作中心農業技術普及プロジェクト  
マギンダナオ州、バシラン州、  
スールー州、タウイタウイ州、南ラナオ州



コミュニティ開発に係る事業の対象地域参照

